

2025年11月25日

各 位

株式会社三井住友銀行

三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社への
シンジケーション方式による「サステナビリティ・リンク・ローン」の組成について

株式会社三井住友銀行（頭取CEO：福留 朗裕）は、三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社（取締役社長：浜野 敬一/以下、「TPFC」）と、シンジケーション方式によるサステナビリティ・リンク・ローン（以下、「本ローン」）契約を締結いたしました。株式会社三井住友銀行はアレンジャーとしてTPFCより指名を受け、本件を組成いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローンは、借り手のサステナビリティ戦略と整合したサステナビリティ・パフォーマンス・ターゲット（以下、「SPT」）を設定し、貸出条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスとを連携させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動及び経済成長を促進し、支援することを目指すものです。

TPFCは、リースを中心とする総合ファイナンス会社で、現在の資本構成は、三井住友信託銀行株式会社が84.9%出資（連結子会社）、パナソニックホールディングス株式会社が15.1%出資（持分法適用関連会社）となっており、TPFCは両株主グループの事業戦略上、重要な位置を占めています。TPFCの事業ポートフォリオは、ホールセール事業、ベンダーリース事業、専門店事業、リテールファイナンス事業、その他事業から構成され、大企業及び中小企業法人から個人まで幅広い顧客基盤を有しています。TPFCの経営理念は、存在意義（ペーパス）、経営理念（ミッション）、目指す姿（ビジョン）、行動規範（バリュー）、及びコーポレートスローガンから構成されています。また、マテリアリティとして「人財」「社会」「環境」の3つを掲げ、それぞれ具体的な施策を実行しています。一例として、「環境」では、リース満了物件の有効利用率向上や、温室効果ガス排出量の削減に取り組むことで、地球環境の保全に努めています。

TPFCでは、こうした取組を加速させるべく、今般シンジケーション方式によるサステナビリティ・リンク・ローンの調達を決定しました。本ローンでは、同社がマテリアリティの一つである「環境」のなかで掲げる取組「資源循環への貢献」に係る指標がKPIとして採り入れられており、サステナブルファイナンスの活用により、より実効性のある取組の実行につなげていくことが企図されています。本ローンでは当該KPIに基づくSPTを定め、達成への動機付けとして、SPTの達成度合いに応じて金利が連動する貸出条件が設定されています。

尚、本ローンは、国際金融業界団体であるLMA（Loan Market Association）、LSTA（Loan Syndications and Trading Association）及びAPLMA（Asia Pacific Loan Market Association）にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローン原則」、環境省にて策定された「サステナビリティ・リンク・ローンガイドライン」において求められる項目について、基準を満たしているとの第三者意見を、株式会社日本格付研究所（JCR）より取得しています。

株式会社三井住友銀行では、お客さまのサステナビリティ経営に向けたソリューションの提供や対話をを行い、持続可能な社会及び市場の形成に一層貢献してまいります。

【本ローンの概要】

契約締結日	2025年11月25日
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
エージェント	株式会社三井住友銀行
貸付人（五十音順）	株式会社青森みちのく銀行、株式会社鹿児島銀行、株式会社熊本銀行、 株式会社十六銀行、スルガ銀行株式会社、株式会社筑波銀行、広島県信用農業協同組合連合会、株式会社三井住友銀行、株式会社宮崎銀行、株式会社琉球銀行、他
SPT	リース満了物件の有効利用率 2027年度 97.24%以上 ※対象：所有権移転外ファイナンスリースの満了物件 ※金額：当初取得価額ベース

(参考)

三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社ホームページ：
<https://www.smtpfc.jp/>をご参照ください。

株式会社日本格付研究所（JCR）による第三者意見：
<https://www.jcr.co.jp/greenfinance/>をご参照ください。

以上

【本件に関するお問い合わせ先】
法人戦略部サステナブルソリューション室
TEL : 03-4333-6965

このお知らせは、投資や勧誘を推奨すること目的としたものではありません。